



# 令和4年度 広沢小学校 学校評価報告書



## 1 広沢っ子宣言と令和4年度の重点目標

- 宣言1 笑顔で気持ちのよいあいさつをし、マナーを守って行動します。  
重点目標:いつでも気持ちのよいあいさつをする子 (95%以上)
- 宣言2 相手を思いやり、友達にやさしくします。  
重点目標:温かい言葉遣いをする子 (90%以上)
- 宣言3 自分の夢をかなえるために、進んで勉強します。  
重点目標:勉強が楽しい子 (85%以上)
- 宣言4 チャレンジしたことを最後までやり抜きます。  
重点目標:目標に向かって頑張る子 (90%以上)
- 宣言5 命を大切に、けがや病気に気を付けて生活します。  
重点目標:健康に気を付けて生活する子 (85%以上)

\* ( )内は重点目標に対しての数値目標

## 2 アンケート結果(児童)

### ☆ 児童の評価

\* 集計結果は、「あてはまる」、「だいたいあてはまる」を合わせた数

	番号	設 問	R3後期	R4	数 値 目 標 との比較(R4)
宣 言 1	1	わたしは、家族や友達、先生いつでも気持ちのよいあいさつをしている。	96.4%	91.5%	-3.5%
	2	わたしは、身の回りの整理整頓に気をつけている。	82.2%	82.1%	
	3	わたしは、正しく廊下を歩いて、落ち着いて生活している。	81.3%	82.8%	
	4	わたしは、学校のために進んで清掃や委員会活動に取り組んでいる。	93.6%	83.6%	
宣 言 2	5	わたしは、丁寧に温かい言葉遣いをしている。		87.6%	-2.4%
	6	わたしは、友達のよいところ見つけ、伝えようとしている。	80.5%	76.1%	
	7	わたしは、友達に親切にしている。	93.3%	93.9%	
宣 言 3	8	わたしは、勉強が楽しい。	81.9%	78.9%	-6.1%
	9	わたしは、めあてをもって学習に取り組む、振り返りをしている。	85.6%	83.0%	
	10	わたしは、授業で自分の考えを友達に伝えている。	75.1%	80.3%	
	11	わたしは、授業で友達の話をしっかり聞いて考えを深めている。	92.2%	88.1%	
	12	わたしは、図書室の本やクロムブックを使って、進んで調べたりまとめている。		84.0%	
宣 言 4	13	わたしは、今の勉強が将来に役立つと感じている。	92.0%	91.8%	
	14	わたしは、自分のめあてにむかってがんばっている。	92.2%	93.2%	-1.8%
	15	わたしは、行事や暗唱に向けて、一生懸命取り組んでいる。	93.5%	92.4%	
宣 言 5	16	わたしは、病気やけがに気を付けて生活している。		93.6%	+8.6%
	17	わたしは、交通安全に気を付けて登下校している。		96.2%	
	18	わたしは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。	79.4%	78.5%	

## 3 アンケート結果(児童)を受けて

- 広沢っ子宣言5「わたしは、病気やけがに気を付けて生活している」の数値目標を達成することができました。子供一人一人が、病気やけがの予防に心掛けていることが分ります。
- 広沢っ子宣言4「わたしは、自分のめあてにむかってがんばっている」が昨年度に比べて1.0%向上しました。運動会や音楽会などの行事に向けて、子供一人一人が、目標を立てて取り組んできたことが分ります。
- 広沢っ子宣言1「わたしは、家族や友達、先生いつでも気持ちのよいあいさつをしている」の数値目標には3.5%届きませんでした。コロナ禍で、コミュニケーション能力が低下してきていることが一因として考えられます。学校の教育活動全体を通して、コミュニケーション能力の向上に努めていきます。
- 広沢っ子宣言3「わたしは、勉強が楽しい」の数値目標には、6.1%届きませんでした。これからも継続して、子供一人一人が主体的に取り組むことができるように、授業改善をしていきます。

#### 4 アンケート結果(保護者)

☆保護者の評価

\*集計結果は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた数

	番号	設 問	R3後期	R4	R3後期との比較
宣言 1	1	お子さんは、家族や友達にいつでも気持ちのよい挨拶をしている。	90.3%	88.4%	-1.9%
	2	お子さんは、身の回りの整理整頓に気を付けている。		55.8%	
宣言 2	3	お子さんは、友達に思いやりのある言動ができています。	92.7%	96.6%	+3.9%
	4	感動や体験の場が、お子さんの心の成長につながっていると感じる。	97.0%	98.4%	+1.4%
宣言 3	5	お子さんは、勉強が楽しいと感じている。	74.3%	76.6%	+2.3%
	6	お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。	86.3%	91.5%	+5.2%
	7	お子さんは、ク롬ブックを活用した授業をしていると話をしている。	83.9%	85.6%	+1.7%
	8	お子さんは、本に親しみ、図書を活用して調べ学習をしている。		65.6%	
宣言 4	9	お子さんは、自分の目標に向けて粘り強く取り組んでいる。	81.2%	85.9%	+4.7%
	10	お子さんは、自分にはよいところがあると感じている。	88.7%	90.6%	+1.9%
宣言 5	11	お子さんは、健康に気を付けて生活している。	87.6%	92.7%	+5.1%
	12	お子さんは、交通安全に気を付けている。	92.3%	96.4%	+4.1%
	13	お子さんは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。	77.1%	76.8%	-0.3%
その 他	13	学校は、積極的に情報を発信している。(各種たより・ホームページ・授業公開等)	94.2%	97.5%	+3.3%
	14	学校は、家庭と連携して教育活動にあたっている。(三者面談や教育相談日の設定等)	90.1%	98.4%	+8.3%

<保護者の皆様からの主な御意見>

##### ◎挨拶について

・学校への訪問時、子供たちからの会釈や挨拶が無かった。

○保護者の方のアンケートで、挨拶をしていると答えている割合が、昨年度と比較して約2%低下しています。挨拶は、コミュニケーションの基本です。改善していけるよう、学校と家庭、そして地域が協力して気持ちのよい挨拶ができる子供を育てていきたいと考えています。

##### ◎学習について

- ・ク롬ブックを利用した授業は、将来に役立つと思う。単純な知識や技能の習得だけでなく、モラルや道徳、情報リテラシーを同時に身に付ける必要性を感じている。
- ・ク롬ブックを子供たちが使いこなしていることに驚きを感じる。書くことや本に親しむ時間も大切にしていきたい。
- ・子供のペースや興味に合わせて、授業を組み立てていただいていると感じる。

○保護者の方のアンケートで、「ク롬ブックを活用した授業をしている」割合が、昨年度と比較して、約2%向上しました。来年度も ICT 機器の積極的な活用を進めていきます。また、同時に情報モラルを考える場面や図書を活用する場面を意図的に設定していきます。

○今まで以上に子供たちが、学ぶことの楽しさを実感することができるように、キャリア教育を推進し、学ぶ意義を子供たちに実感させていきます。

##### ◎広沢っ子宣言4について

・目標達成のために、日頃から練習や準備をし、当日に備えるという体験が、かけがえのない成長の場になっていると感じる。

○保護者の方のアンケートで、「自分の目標に向けて粘り強く取り組んでいる」割合が、昨年度と比較して、約5%向上しました。各種行事に向けて、個々の目標を明確にして取り組み、終了後には、丁寧に振り返りをした結果としての表れだと思えます。来年度も子供たちの成長を考え、各種行事を設定していきます。

##### ◎コロナ禍での学校行事について

・コロナ禍でも、音楽会や運動会などの行事が開催できてよかった。来年以降は、全体で開催できたらうれしい。

○来年度も、コロナ対策をしっかりと考慮し、できる範囲で学校行事を実施していきます。

##### ◎その他

・特日課が多すぎるように感じる。熱中症対策とはいえ、子供たちの遊ぶ時間がかかなり減っていると思う。

○保護者の方のアンケートで、「進んで運動したり、外で遊んだりしている」割合が昨年度と比較して、約 0.3%低下しました。特日課により、休み時間の確保があまりできなかったことも一因として挙げられます。授業時数の確保や教職員の働き方改革、熱中症対策なども考慮しながら、特日課の回数や休み時間の設定などを考えていきます。

## 5 職員の評価

- 「やりぬく(自己理解・自己管理能力)」に重点をおいて、キャリアパスポートと関連させながら学校行事に取り組んだことで、目標に向かって粘り強く取り組む態度が身に付いてきた。
- 決まった場所で進んで気持ちのよい挨拶をする子供は増えているが、交通ボランティアや校内での来客者等へ挨拶する習慣がまだ身に付いていない。
- 友達のとよいところを認めたり、困っている友達に声を掛けたりする子供は多いが、ここ3年間のコロナ禍の影響もあってか、友達とのコミュニケーションを取ることが苦手であったり、ちょっとしたトラブルにくじけてしまったりする子供が増えてきている。不登校、登校渋りの子供が増加傾向にある。
- コミュニティ・スクールの取り組みが軌道に乗りつつあり、総合的な学習の時間や国語科、社会科等で地域の人や専門職の方から学ぶ機会の設定等、教育環境が整ってきた。また、キャリア教育を意識した学習や ICT 機器の積極的な活用により、子供たちの課題対応能力に伸びが見られる。にもかかわらず「勉強が楽しい」と感じる子供の割合が下がっているのが課題である。子供たちに学ぶ意義を理解させ、今の学びが将来につながることを意識させたい。

## 6 学校運営協議会による学校関係者評価

- 広沢っ子宣言2「相手を思いやり、友達にやさしくします」は、「相手の気持ちを考え、友達と仲よくします」と言い換えることができ、挨拶を含めて人として大切なことである。その意味でも来年度、「かかわる(人間関係・社会形成能力)」を重点に置くことはよいことである。
- 挨拶や友達に対しての言葉遣いについては、まず、教師や保護者など、周りの大人がお手本となる行動をすることが大切である。
- 「勉強が楽しい」と感じている子供の割合が低いのに対して「授業が分かりやすい」と感じている保護者の割合が高く、子供と保護者とでギャップが生まれている。子供自身が学ぶことの意義を考え、主体的に取り組むことができるようにするとよい。
- 子供がゆとりをもって生活することができるように、特日課における休み時間(5分間)について検討の必要がある。
- 「学校は、家庭と連携して教育活動にあたっている」と感じている保護者の割合が98.4%もあり、学校と家庭との信頼関係ができています。来年度も三者面談や教育相談の時間を確保し、健やかな子供の成長のために、学校と保護者が協力して取り組んでいくとよい。

## 7 今後の改善方策

- 自他の命を大切に教育の推進
  - ・目指す学校像を「多様性を認め合い、みんなの笑顔があふれる広沢小学校」とする。子供も、保護者も、教職員も、地域の方々も、みんなが笑顔でいられることを願って。
  - ・全ての教育活動を通して、命の大切さを学ぶ機会を計画的に設定し、その意識を高める。
  - ・学校が子供にとって安心できる場所になるために、子供同士、教職員と子供との人間関係づくりに重点をおく。
  - ・教職員自身が、率先してさわやかな挨拶をしたり、温かい言葉遣いをしたりする。
  - ・心無い言葉や態度が人の心を傷つけ、いじめにもつながることを丁寧に指導するとともに、いじめの早期発見・早期対応に努める。
  - ・新設される校内適応指導教室により、不登校や登校渋りの子供の心に寄り添った温かい指導をする。
  - ・広沢っ子宣言2「かかわる(人間関係・社会形成能力)」に重点をおく。
  - ・交通安全意識の向上 広沢小見守り隊を軌道に乗せる。
- 主体的に学ぶ子の育成
  - ・学ぶ意義や今の学びが将来につながることを理解して、主体的に学ぶ子供を育てるためにキャリア教育を意識した指導を推進する。
  - ・ICTを積極的に活用し、学習方法の幅を広げ、子供の情報活用能力を伸ばし、「勉強が楽しい」と感じる子供を増やす。
- 日課の工夫
  - ・特日課を減らし、子供にゆとりをもたせる。
  - ・特日課の休み時間を5分間から10分間にし、子供がゆとりをもって生活できるようにする。
  - ・友達と関わったり、思い切り遊んだりする時間の確保をする。
- 学校と家庭との連携
  - ・令和4年度同様、三者面談や教育相談日を設定する。
  - ・6月の参観会のときに懇談会も設定し、学級担任と保護者、また、保護者同士が情報交換をすることができるようにする。